

EdTech推進地方議員連盟の 設立について

2020.11.16

01

EDTECH（未来の教育）とは



教育現場にテクノロジーを駆使した学びをもたらす「EdTech」の第一人者として知られる。経産省の「未来の教室とEdTech研究会」座長代理、東京都千代田区立麴町中学校の学校運営協議会委員長

EdTech ・ ・ Education × Technology

テクノロジーを活用した教育のイノベーション。ただ単に既存の教育の延長上としてICTを活用した授業を行うだけでなく、ベンチャー企業などが持っているクリエイティビティやスピードを用いてこれまでの構造や仕組みを再定義し、新たな枠組みやルールを築き教育の在り方を本質的に変えるもの。

EdTechの最大の魅力は、教育という制度に頼らなくても、**学習者が主体となった「学び」**が手に入るということ。一斉授業を主とした教育制度ではなく、学習者一人ひとりの個性や特徴、興味・関心、スピードに応じた学びを学習者自らが選択し、学べる新しい時代が来るという点
が特徴である。

01

EDTECH（未来の教育）とは

▶ これまでの対面教育の良さにテクノロジーを融合させる時代になる

黒板による一斉授業を代表とした詰め込み型教育

ICTの活用



必要な学びを学習者自らが選択していく教育



日本の対面型教育制度の良さ
(体育などの授業プログラムだけでなく、日常生活における生活環境の指導や人間関係の相談など)



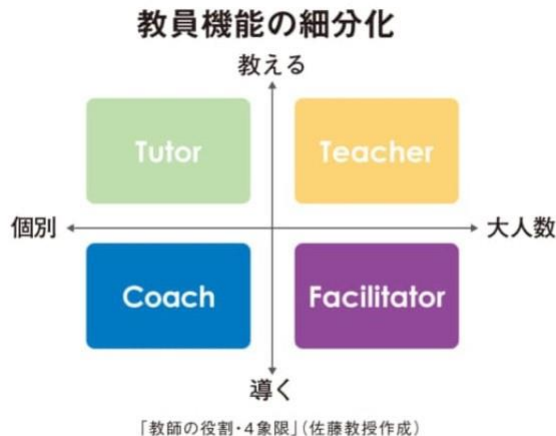
⇒よいものは取り入れ、マイナスになるものは排除していく、
教育現場における取捨選択の繰り返し

01

EDTECH（未来の教育）とは

▶例えば、より一人一人に合わせたきめ細かい教育が出来るようになる

※教員の役割はティーチャーからコーチへ



・AIによって、個人の習熟度に合わせることを出来る
アダプティブラーニング

⇒生徒一人一人に合わせた個別学習計画の立案

・インターネットさえあれば、一人ひとりが自分のペースで、自分に合った学び方で学ぶことができる

⇒横並びの定期テストを行う必要がなくなる

01

EDTECH（未来の教育）とは

▶ 総務省の調査でも、ICT教育による学力の向上その他の効果は認められているが、**現場のスキル・体制**が整っていなければ逆効果となりかねない

①子どもたちへの効果

⇒基礎学力の向上/学習制度の改善/ICTスキルの習得/勉強への興味関心アップ/他校との交流活発化/協同的な目的達成力の向上 など

②先生たちへの効果

⇒生徒への指導方法・授業内容の改善/教員同士のコミュニケーションの活性化/労働時間・業務軽減 など

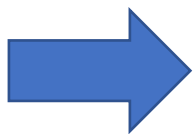
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h24/html/nc114720.html>

02

現状の課題（公教育のEDTECH化）

▶ ICT教育環境は整備されるが、活用方法は現場任せ

- 全国的に国のGIGAスクール構想に基づくICT教育環境の整備は今年度中に概ね完了する予定
- しかしその機器を子ども達のために如何に活用出来るか、という点は手探り状態
⇒どのように最大限活用するか、どのソフトウェア・システムを選択するか等、最適な教育手法・教育コンテンツの選択については一律のガイドライン等はなく、教育現場に任されているが、悩んでいるという声が多い



結果、現場次第で教育の質に差が生じてしまう

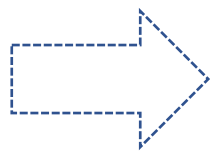
⇒現場に対して各国・各学校の成功例等を共有する必要がある

03

課題解決のアプローチ

①教育関係者の情報共有の場を設ける

⇒現場の関係者が最新の情報を共有出来る場所を設ける
(各種セミナー・イベント・Edcampなど)



時間的・場所的制約から情報の伝播には限界がある

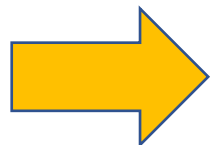
②国や教育関係機関が作成するガイドラインを待つ



いつになるか分からない&テクノロジーの変遷は速い

③国の動向を見つつ、教育現場に直接提言を行う

⇒各自治体の議会から教育委員会を通じて現場に提言を行う



全国的に議会からEdtechを推進し、教育の質を向上させるため、
地方議員連盟を設立したい

04

地方議員連盟設立のメリット・活動予定

• 各議員の知識向上・最新の情報共有

⇒定期的に勉強会を開催し、経産省の「未来の教室」関係者などの教育関係者・スタートアップ企業等も巻き込み・官民連携で最新の先進教育事例を共有する。

• 教育現場へのEdtech推進・教育の質の向上

⇒教育現場または国に対する提言を通じてEdtechを推進し、教育の質の向上を目指す

①教育現場に対する提言

⇒各議員が教育委員会を通じ、各学校へ先進事例をフィードバックする。
また、連盟として意見書や提言書を取りまとめ、共同で提出する。

②国に対する提言

⇒ガイドラインの作成、学校現場やスタートアップ企業への補助など、
国に対して必要な提言を連盟として取りまとめ、提出する。

APPENDIX

01

議員は何をやっているのか？

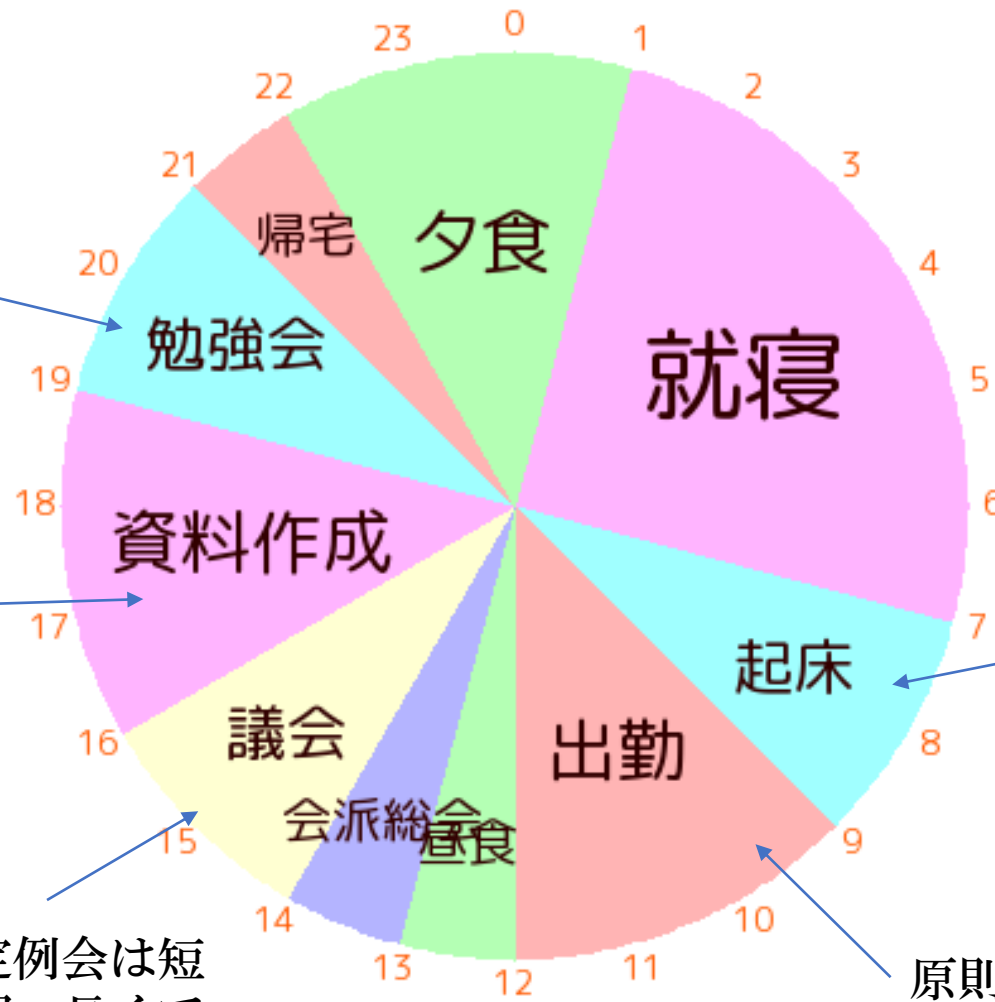
- 定例議会への出席（原則、6月、9月、11月、3月）
⇒一般質問（区長、執行部に対して何でも質問出来る）
- 所属委員会への出席（定例会開催期間中に招集される）
⇒一般質問（出席理事者に対して提出資料への質問含めて何でも質問出来る）
- 陳情・請願対応
- 区内の調査活動（視察等）

02 ざっくり1日スケジュール

週1, 2回程度

委員会、議会質問案、
タウンミーティング
資料、党政策調査、
党運営に関わる規約、
計画書、議案等の作
成

委員会、定例会は短
くて1時間、長くて
18時頃まで



駅頭する時は駅頭し
てから出勤

原則、毎日区役所

03

定例議会での質問内容

◆ICT施策について

- 電子区役所の実現について
- 民間からの人材登用について
- 庁舎内のペーパーレス化推進について
- 区が主導するコミュニケーションアプリ等の導入について

◆教育について

- 来年度の英語教育施策について
- インターナショナルスクール等の積極誘致について
- 区の発行物・案内標識等における日本語・外国語併記について
- ICT教育環境の3年以内の整備について



定例議会での質問内容

◆防災対策について

- 区民の防災意識向上に向けた普及啓発活動について
- ヤフー株式会社との災害協定締結による、無償サービスの利用について
- LINE公式アカウントの利用による情報配信について
- 大規模停電発生時の電力確保の方法について
- 災害発生時における防災船着場の活用について
- 本庁舎・区内の集合住宅・聖路加国際病院それぞれに設置されている非常用自家発電機の点検実施状況および備蓄燃料の取扱い状況について

◆行政経営改革について

- 自治体間ベンチマーキングの取組について